

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

平成30年2月実施

支援員以上7名 有効回答数7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室等は99平米あり、十分なスペースが確保されている(基準上は33平米以上)。個別対応のスペースを確保する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			サービス提供時間に1日平均3.9名の支援スタッフがおり、適切と判断する(基準上は2名以上)。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		昇降口に段差がある。とりはずし式のスロープを用意し対応する予定。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		一般職員以上が参画しているが、パート職員は不十分と言える。時間的な制約があるものの、パート職員も含めた体制作りを行っていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			支援部分は概ね好評価をいただいている。ただし、災害対策等の周知が不足していることが見てとれた。文書配布を行い、周知を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	平成30年度に日本発達障害ネットワークによる「放課後等デイサービス認証事業」の申請を行い、外部評価を得る予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			一般職員に対する研修機会は多く確保されている。一方でパート職員には虐待防止研修の参加程度にとどまっており、勤務時間に合わせた研修機会を設定していきたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と定期的な面談を実施し、アセスメントと放課後等デイサービス計画の作成を行っている。また送迎時のやり取りで都度の課題分析を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			サービス等利用計画のアセスメント表を活用し、状況把握を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤職員を中心とした会議で立案、修正を行っている。会議の場で定期的に振り返りを実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			約10種類の集団活動プログラムをローテーションして組んでいる。見通しを持てるように頻繁なプログラム変更は行っていない。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			時間の取れる休日や長期休暇などは外出行事を組むようにしている。夏休み中はプールの機会を設けている。その他のプログラムは平日も休日も同じように設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を中心に活動を行っている。個別活動としてテーブル拭きや花の水撒きなどの役割を持たせる作業を行っている。今後は休日等の時間のある時に個別活動を組み込んでいきたい。

ハ	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		児童の利用前に打ち合わせを毎回行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日あったことなどを全体で打ち合わせをして共有を図っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録を取り、その検証・改善は行っている。しかし、より細かく支援記録を取る時間をどう確保するのが課題である。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとのモニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		基本的に総則に則った活動を行っているが、地域交流に関しては自閉傾向の強い児童も多く、刺激への配慮から積極的には行っていない。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者と支援スタッフ1名で対応することとしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・送迎時に体調や精神状態について担任に確認している。トラブル発生時には連絡を取り、状況報告をしている。必要に応じて学校訪問を実施し、主に担当教諭と情報共有を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現状として医療的ケアが必要な児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		現実的に中学生以上の児童しかいないため、共有機会がない。ただし、今後対象者がいた場合は情報共有する準備がある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		保護者の求めに応じて対応するようにしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携機会がないが、重度知的障害や自閉症スペクトラムの研修機会があれば参加を考えている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		現状では刺激への配慮から行っていない。また、保護者からも必要性を感じない声が聞かれている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		当事業所としては参加していない。法人としては困難ケースなどの相談で関わる機会がある。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の状況報告や連絡ノート、また年に2回の面談機会を通じて共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		専門知識を有している職員がいない。今後研修機会を設けていく。ただ、年齢の高い児童が多く、ペアレントトレーニングを求めている現状も見られる。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時に丁寧に説明を行っている。支援の内容については日々状況に応じて説明している。

保護者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの話しや相談は基本的に傾聴するようにしている。面談機会に特に話し合うようにしている。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現状では就業して忙しい保護者も多く、積極的に連携を図りたいという声は聞かれていない。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		法人の苦情解決規程に基づき苦情相談窓口担当者と苦情解決責任者を設けている。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月活動カレンダーや活動報告を作成して配布している。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○		法人の個人情報保護管理規程に則り、適正に取り扱っている。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的な伝達や日課の見通しを持てるように配慮している。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		焼き芋配布イベントを行い、地域住民に声をかけている。また、法人全体の夏祭りの案内を送っている。
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		それぞれのマニュアルを策定し、職員には周知できているが、保護者には周知不十分なため、今後文書で配布する予定。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		消防法に則った年2回の消防訓練を同敷地内の成人部と合同で実施している。また、夏休みに児童部のみでの訓練も実施している。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人として虐待防止研修会を実施し、パート職員も含めて参加機会を設けている。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		法人全体として組織的に決定している。ただし、当事業所では身体拘束を行っていない。
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現状では食物アレルギーのある児童はいない。アセスメント時にアレルギーについては都度確認している。
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット集を作成しているが、積極的に集まってこなかったため、29年度より書き込みやすい形式に変えている。所内で共有して論議しやすい雰囲気作りに努めていく。